

平成25年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実 施 報 告 書

HT25129

金沢コケツアー ～コケ植物の生態と景観を巡る街あるき～



開 催 日 : 平成25年8月27日(火)

実 施 機 関 : 金沢工業大学および金沢市内
(実 施 場 所) (旧中村邸、兼六園、成巽閣など)

実 施 代 表 者 : 円井基史
(所 属・職 名) (環境・建築学部・講師)

受 講 生 : 中学生4名

関 連 URL :

【実施内容】

中学生4名(中学1年生3名、中学3年生1名)を対象に金沢コケツアー(コケ植物の生態と景観を巡る街あるき)を行った。天候は晴れ、実施中の外気温は約29℃、心配された熱中症等は大丈夫であった。まず金沢工業大学扇が丘キャンパスにおいて、コケ植物の基本的な生態、種類、特性に関する講義と、顕微鏡・ルーペを使った実習を行った。その後バスで移動し、旧中村邸、茶室梅庵、茶室耕雲庵、松風閣庭園、金沢神社、兼六園、成巽閣を徒歩で回り、コケ植物の種類・生態およびコケ植物と建築が織りなす景観を学んだ。

＜工夫した点および安全配慮＞

- ・座学説明において、中学生に分かりやすい言葉を用いた。また図入りの配布資料を用意した。
- ・室内の演習において、3種類の実物のコケ植物と数種類の顕微鏡、および人数分のルーペと霧吹きを用意し、コケに水をかけると葉が広がり色も鮮やかになる様子を観察した。
- ・フィールド街歩きの時にもルーペと霧吹きは各自が携帯し、いつでもコケへの給水や観察を行えるようにした。
- ・旧中村邸、梅庵、耕雲庵では、コケ庭だけでなく、室内の建築の面白さや、茶室に関しての話を織り交ぜた。
- ・昼食は旧中村邸の和室で食べたが、参加者(中学生)と主催側(教員および大学生スタッフ)が打ち解けられる雰囲気になるよう配慮した。
- ・フィールドでは、コケに水をかけ葉が開く様子を観察したり、コケに触って手触りを確かめるなどを行った。
- ・フィールド街歩きについて、晴れて暑かったため、熱中症を防ぐためにも、一部ルートを短くし、また日陰や東屋、室内で休憩するよう配慮した。また昼食において、お茶に加えスポーツドリンクを用意した。

＜当日のスケジュール＞

- 9:10 23号館1階パフォーミングスタジオにて挨拶、自己紹介、プログラム概要、科研費の説明
- 9:30 講義 コケ植物の概要 都市に生育するコケについて
- 10:10 顕微鏡・ルーペを用いてコケを観察
- 10:30 バス移動 11:00 旧中村邸、梅庵、耕雲庵の解説、庭の観賞
- 12:10 旧中村邸にて昼食・休憩 13:00 松風閣庭園 13:20 金沢神社
- 13:50 兼六園 14:20 成巽閣(飛鶴庭) 15:30 バス乗車
- 16:00 23号館パフォーミングスタジオにて修了式(アンケート記入、未来博士号の授与)
- 16:20 解散

＜事務局との協力体制＞

連絡を密に取り、円滑な運用ができた。

＜広報活動および今後の課題＞

学校へのチラシ配布、ホームページでの広報、図書館でチラシ置き、知人への直接勧誘などを行ったが、定員20名のところ5名しか応募がなかった(1名は欠席)。特に高校生は日程的に試験直前等で、応募はなかった。広報活動および日程設定は次回以降の課題である。

参加者は4名だけであったが、アンケートを見る限り、内容の満足度は確認され、発展性はあると感じた。

【実施分担者】

土田義郎

環境・建築学部・教授

【実施協力者】 8 名

【事務担当者】

成田武文

研究支援部 研究支援課